

## 令和4年度 指導の重点

### 1 小学校：体育 中学校：保健体育

#### ◇本年度の重点

- (1) ICTを効果的に活用した授業の実践
- (2) 資質・能力の三つの柱の育成がバランスよく実現できる学習過程を工夫し、運動の楽しさや喜びを味わえる授業の実践
- (3) 健康・安全について、小学校では、基礎的・基本的な内容を実践的に理解できるようにし、中学校では、科学的に理解することができるようにする保健教育の実践

#### ◇現状と課題

- ・運動の特性や魅力を十分に味わうことのできる授業実践
- ・指導内容の明確化を図るとともに、発達の段階を踏まえた指導と評価の計画の作成
- ・運動領域(体育分野)と保健領域(保健分野)を関連させた指導の充実
- ・体育的活動時の事故防止

#### (2) 資質・能力の三つの柱の育成がバランスよく実現できる学習過程を工夫し、運動の楽しさや喜びを味わえる授業の実践

- ・学校や地域の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性、各学校種間の関連を十分考慮して、2学年間や小学校6年間、中学校3年間の見通しを立てて指導計画を作成し、日常的な活用及び見直しを図る。
- ・指導内容の明確化を図り、それらが確実に身に付くような指導方法を工夫する。
- ・指導内容の定着を確実に評価する方法と、評価を次の指導に生かす方法を工夫し、指導と評価の一体化を図る。
- ・体育と保健を一層関連させて指導する。

#### (3) 健康・安全について、小学校では基礎的・基本的な内容を実践的に理解できるようにし、中学校では科学的に理解することができるようにする保健教育の実践。

- ・小学校では健康な生活を送る資質や能力の基礎を培う観点、中学校では自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成する観点を踏まえ、系統性のある指導ができるように、指導内容を明確にする。
- ・健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫改善に努める。

### 2 高等学校：保健体育

#### ◇本年度の重点

- (1) ICTを効果的に活用した授業の実践
- (2) 新学習指導要領の趣旨に則った指導計画の作成及び指導と評価の一体化
- (3) 健康・安全に関する内容を総合的に理解するとともに、生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の育成

#### ◇現状と課題

- ・12年間の系統性を踏まえた指導内容の見直し
- ・運動やスポーツとの多様な関わり方を重視した指導計画と内容の取扱い
- ・体育と保健を関連した指導の充実
- ・体育的活動時の事故防止

#### (2) 新学習指導要領の趣旨に則った指導計画の作成及び指導と評価の一体化

- ・体育の見方・考え方を働かせ、小学校から高等学校までの12年間を見通して、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるように、系統性を踏まえた指導内容の見直しを図るとともに、指導内容の重点化を図る。
- ・生徒が選択して履修することができるよう配慮するとともに、「共生」の視点を踏まえ男女共習を原則とした指導方法の工夫を図る。
- ・三つの資質・能力を育成する指導内容を明確にした上で、指導と評価の計画を作成しバランスよく評価する。
- ・学習評価の基本的な考え方に立った授業改善を図る。
- ・健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識させ、学習した結果としてより一層の体力の向上を図る。

#### (3) 健康・安全に関する内容を総合的に理解するとともに、生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の育成

- ・保健の見方・考え方を働かせ、生涯を通じて自他や社会の健康に関する課題を解決していくための資質や能力の育成を図る。
- ・「保健」と「体育」の内容を関連付け、健康な生活と運動やスポーツとの関わりを深く理解したり、心と体が密接につながっていることを実感したりできるよう留意する。

※〔(1) ICTを効果的に活用した授業の実践〕は、各教科・領域共通のため、県立総合教育センターホームページ「義務教育指導課 研修用資料サイト」に掲載の「I 指導の重点(総論)」を参照。